

愛知県議会議員 わたらい克明の 県政ジャーナル

—議会だより—



新たな挑戦! 庶民派

2008年 初秋号 (第37号)

発行人 わたらい克明事務所
豊橋市舟原町155 舟原マンション203



家計は非常事態、物価高騰にスピード対応を!

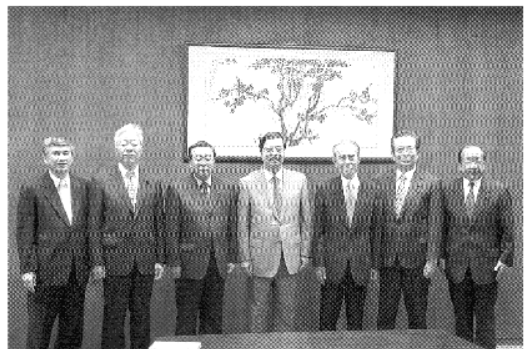
私の自宅の庭で咲いた
～四季折々の花～

★梔子 (くちなし)



◆花ことば◆

「洗練、優雅」「喜びを運ぶ」



グエン・フー・ビン駐日ベトナム特命全権大使が、地方視察の一環として、愛知県とベトナムとの交流促進のため来県されました。

これには議会を代表して、議長・副議長はじめ各会派の団長が出席しました。私も公明党議員団を代表して歓迎をしました。

ごあいさつ

愛知県議会議員

渡会 克明

残暑厳しき折、皆様方におかれましては、ご健勝のこととご推察申し上げます。

内閣改造が断行され新しい内閣がスタートしました。是非「生活重視の励ましの改革」「弱者に温かい政治」へ、大きく踏み込むことを期待したいと思います。

今、わが国は、世界的な資源・エネルギー価格の高騰と、国内における本格的な少子高齢化社会の到来という、二つの大きな構造的な変化に直面しています。わが愛知県においても例外ではありません。

原油や食糧などの世界的な価格高騰の中、相次ぐ値上げでやりくりも大変になってきたというのが皆さんの生活実感だと思えます。地球温暖化、資源高騰の時代にあつて、省エネ技術の導入を加速するなど、一日も早く低炭素社会を構築しなければなりません。また農業・林業・漁業・中小企業の皆さんをはじめとする、急激な物価高で困難に直面している様々な声にはきちんと応えていく必要があると思えます。

さらに、本格的な少子高齢化社会に対応するためには、安心して生活できるよう、将来を見据えた抜本改革を着実に進めていく必要があります。そのためにも、年金・医療など社会保障に、いろいろな欠陥が判明した結果生じた、皆さんの不信や不安を、一日でも早く、一つひとつ解消していく国の努力が重要です。

私は地方議員の立場から、皆さんの暮らしの中の不安の声に耳を澄まし、生活改善を実感できる施策の実現に全力を尽くしたいと思います。

今後ともどうか皆様方の一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成二十年八月



県議会報告

平成20年
2月定例議会

本会議議案質疑 (質問と答弁の要旨一部抜粋)

2月議会本会議にて質問を致しました。
県議会録画中継が下記アドレスで視聴できます。
<http://www.pref.aichi.jp/gikai/tyukei>



◆民間住宅耐震診断費補助金について◆

(渡会克明議員質問)

平成16年の新潟県中越地震、昨年2月の能登半島沖地震、そして7月の新潟県中越沖地震と、中部地方で大きな地震が続いております。さらには、私たちに関係の深い東海、東南海地震の発生という切迫性も指摘をされております。

愛知県は、平成19年3月に「愛知県建築物耐震改修促進計画」を策定し、住宅の耐震化率を平成27年度までに90パーセントにする目標を設定しました。その達成のために、平成18年度から26年度までに合計13万戸の耐震診断、そして平成18年度から27年度までに合計2万戸の耐震改修を実施する計画を立て、進めているところであります。

さて、愛知県は平成14年度に無料耐震診断、15年度に耐震改修工事への補助制度を設け、耐震化の促進を図っているところであります。

そこで、19年度の進捗状況を伺ったところ、耐震診断は計画1万8,000戸に対して約1万戸、耐震改修は計画2,000戸に対して約700戸の見込みとのことであります。いずれも計画に達しておらず、目標の達成が危ぶまれており、特に、耐震診断に比べ、耐震改修の進捗が少ないというのは大変残念なことであります。

住宅の所有者というのは、地震に対する自宅の耐震状況というものを知らないと、いざ地震が発生した

時にどのような対応をとるべきか、またどういう準備をすべきか、判断ができないと思います。

したがって、まずは耐震診断により自宅の正確な危険度を十分に把握しておくことが、防災に対する備えとして大変重要であると考えます。

私は、かねがね耐震改修が進まない要因は、県民の皆様は耐震診断をしても、耐震改修の具体的なイメージが描けないためであると考えておりました。

現在の耐震診断制度においては、住宅所有者の方は耐震診断結果の説明時に、耐震性能の評点の説明を受けるだけで、どのように耐震改修を行うのか、また、どのくらいの費用がかかるのかなどの説明は受けておりません。

防災に対する危機意識が低い上に、診断結果は出たものの、本当に我が家は倒壊するだろうかと疑心暗鬼の方もいらっしゃるかもしれません。長年住み慣れた我が家に手を入れるわけですから、補助を活用して命を落とさないための緊急の耐震補強をするのか、補助はなくても、この機会に水まわり等を含めた快適性、利便性を高めるリフォームをするのか、はたまた、低金利ローンを利用して建て替えをするのか、その気持ちは様々な理由から揺れ動いていると思います。私は、ここに大きな問題があると考えております。

例えば、ある大手のリフォーム会社では、コンピュータグラフィックなどで、リフォームのイメージをわかりやすく示し、さらにその工事費を提示するというようなケースもあります。こうしたことによって、納得のいくリフォームの実施につながっているのではないかと考えられます。

来年度から、木造住宅の耐震診断制度を拡充され、新たに積算費を助成することにより、耐震診断の説明時に耐震改修の概算工事費を説明するとのことであります。これは、なかなか進まない耐震改修を促進するための第一歩として、大いに期待をしているところであります。

そこでお尋ねをいたします。

わたちゃんの フォト・NEWS



<産業観光視察>

公明党愛知県議団(渡会克明団長)は、同県が日本を代表するモノ作りの集積地であることから、産業文化財を観光資源として生かす産業観光の振興に向けてPR施策などを推進してきました。今回は、名古屋市の「ノリタケの森」、1匠

制度拡充の内容とそれによりどのような効果が期待できるのか、県の考えをお伺いいたします。

また、耐震改修費が高額であると、なかなか改修に踏み切れないという現状があります。県では一昨年来、安価な耐震改修工法の開発に取り組んでいると聞いておりますが、その具体的な進捗状況はどのようになっているのかお伺いをいたします。

(建築担当局長答弁)

民間住宅耐震診断費補助金についてのお尋ねのうち、まず、制度拡充の内容と効果についてでございます。

これまでの耐震診断では、住宅の所有者の方に診断結果として耐震性能を示すだけででしたが、新たに耐震改修の概算工事費や改修工事のイメージを提示し、説明をすることとしたもので、これまでの耐震診断費3万円に改修に要する工事費を算定する費用等として1万5千円の増額をいたします。

今回の制度拡充によって、所有者は耐震改修工事のイメージをつかむことができるようになりますので、耐震改修に取り組む方は増加するものと考えております。

次に、安価な耐震改修工法の進捗状況についてのお尋ねでございます。

一昨年来、大学等と連携しながら安価な工法の開発や広く新工法の収集を行ってまいりました。このうち外壁をはがさずに補強を行う工法につきましては、これまで実験により強度の検証等を進めてきておりますが、今後工法の評価や工事費など実用化に向けての課題を整理し、年内を目途に耐震改修費補助制度の対象としていきたいと考えております。

また、これとは別に開発してまいりました壁を合板などで補強する工法や、工法コンペで収集しました新しい工法につきましては、現在、施行マニュアル等を作成中ですので、新年度から補助の対象として普及を図ってまいります。

(渡会克明議員要望)

私たちの住まいの近隣、その地元を目をやりますと、住宅が密集している地域もあろうかと思えます。

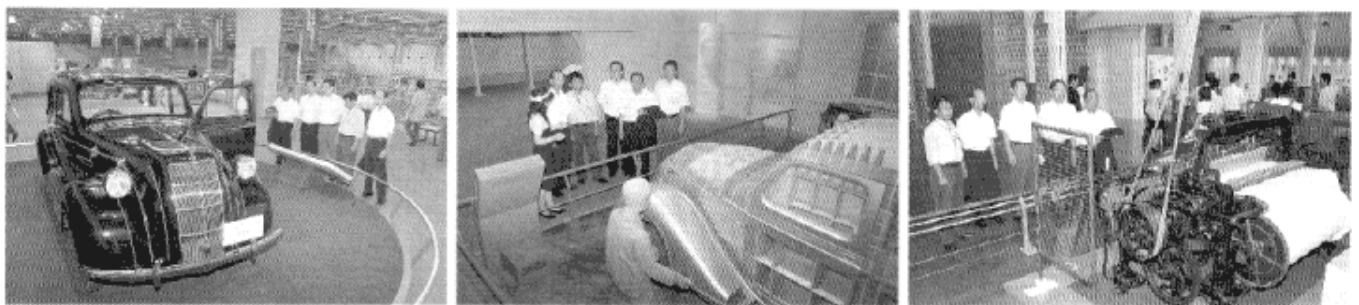
ご存知のとおり、住宅密集地は、都市防災の最大の弱点であります。耐震改修を必要とする個人所有の住宅は、災害に遭うと火事の通り道になったり、倒壊して消防車の進入を邪魔したり、消火・避難・救助活動の妨げとなります。このように私たちの身近な地域でも、様々な問題が出てくるわけであります。

こうなると個人住宅といっても公共性があるわけで、特に道路沿いの住宅などは、その地区全体の防災性を向上する観点からも、行政側からの積極的な改修への働きかけが必要であります。県当局におかれては、市町・民間機関とも連携協力の上、さらに徹底した耐震化の取り組みをお願いしたいと思います。

耐震診断は耐震化促進策の第一歩であり、それに続く耐震改修が行われてこそ、耐震化が完了したといえるわけであります。民間住宅の無料耐震診断が始まったのが平成14年、耐震改修の補助を始めたのが平成15年、他県に先駆けて創設した制度も、早いもので既に5年・6年が経過しました。

しかし、今日までの耐震化に対する取り組みを見ますと、着実な努力は評価するものの、そのスピードは物足りなさを感じるところがあります。災害は私たちの都合に合わせて待ってはくれません。

地震は天災であります。被害は人災であります。県は当然のこととして、県民の生命と財産を護ることがその責務であります。防災先進県の自負を持ち、引き続き知恵を出し、工夫をして耐震化に取り組まれるよう、要望をして質問を終わります。



業技術記念館」(旧豊田紡織本社工場)を視察しました。

中でも「ノリタケの森」は、最高級の洋食器や陶磁器を数多く展示しているクラフトセンターがあり、製作工程を日前で見学できます。このセンターは、多彩な商品が生まれ出された歴史を紹介し、「モノ作りの世界を感じ取っていただくための場所」とPRされていました。

平成20年度 ポケット情報あいちより

人口

人口、世帯(平成20年6月)		
人口	7,387,160人	全国第4位
(内) 男	3,715,766人	(50.30%)
(内) 女	3,671,394人	(49.70%)
世帯	2,910,769世帯	1世帯当たり 2.54人

- ・平均年齢(平成19年10月) : 42.0歳
- ・平均寿命(平成18年) : 男79.4歳 女85.7歳
- ・100歳以上の人口(平成19年10月) : 男185人 女1,085人 計1,270人

年齢3区分別割合		
年齢区分	平成19年10月	平成9年10月
0~14歳	14.6%	15.9%
15~64歳	66.4%	71.0%
65歳以上	18.5%	12.9%
(内) 75歳以上	7.8%	—

人口移動(平成18年10月~平成19年9月)	
県外からの転入	190,127人
県外への転出	155,083人

出生、死亡、婚姻、離婚の状況(平成18年)			
出生	69,999人	7分31秒に1人	出生率(人口千人当たり) 9.8人
死亡	52,294人	10分03秒に1人	死亡率(人口千人当たり) 7.3人
婚姻	46,374件	11分20秒に1件	平均結婚年齢 夫29.9歳 妻27.9歳
離婚	13,861件	37分55秒に1件	

- ・女性が生涯に産む平均子供数(平成18年) : 1.36人

豆知識

「愛知県防災学習システム」

防災マップを見る

お住まいの地域周辺の防災マップを見ることが出来ます。

建物倒壊シミュレータ

東海・東南海地震が起こったときの、自宅の様子をシミュレーションすることが出来ます。

地域防災の広場

地域の防災情報や安全情報について、みんなで書き込むことの出来るマップです。

ビデオ教材で学ぶ

防災に関する各種ビデオコンテンツを閲覧できます。

さあ!早速アクセスしてみよう。

<http://www.quake-learning.pref.aichi.jp/>

知ってますか?

あいちばん 愛知県が全国1位の主な項目

人 口		
	人数等	全国シェア
市街化調整区域人口(平成19年3月)	1,331千人	11.8%
3世代同居の世帯数(平成17年10月)	204,745世帯	6.0%
外国人人口の割合(平成17年10月)	2.1%	1.2%(全国)
農 業・水産業(平成18年)		
	産出額・漁獲量	全国シェア
ふ き	14億円	41.3%
し そ	83億円	55.9%
き く	254億円	32.2%
洋らん(鉢)	83億円	24.3%
観葉植物(鉢)	88億円	47.0%
うずら卵	29億円	68.6%
あさり類	10,499トン	30.0%
工 業(平成18年)		
	出荷額等金額	全国シェア
そ毛洋服地	350億円	61.7%
うが葉から・塩加から	407億円	68.4%
がい子・がい管	318億円	68.3%
ガスこんろ	457億円	60.6%
電動工具	1265億円	59.4%
カーエアコン	4922億円	62.6%
商 業		
	事業所数・打席数	全国シェア
自動車小売業の事業所数(平成19年6月)	4,348事業所	6.1%
ゴルフ練習場の練習打席数(平成16年11月)	8,722打席	6.8%
買 易(平成18年)		
	輸出・輸入量	全国シェア
完成自動車の輸出	41,250千トン	47.9%
事務用機器の輸出	453千トン	33.2%
陶磁器の輸出	112千トン	61.0%
羊毛の輸入	17千トン	50.6%
二輪自動車の輸入	185千トン	64.2%
運 輸(平成19年12月)		
	保有台数	全国シェア
自動車保有台数	495万台	6.2%
労 働(平成19年平均)		
	倍 率	全国平均
有効求人倍率	1.95	1.04
建 築(平成19年)		
	着工数	全国シェア
新設鉄骨造住宅(一戸建)の戸数	6,499戸	11.0%
製造用建築物の着工数	1,280棟	7.9%
教 育(平成19年3月)		
	就職率	全国平均
高等学校卒業者の県内就職率	97.3%	79.8%

このページには、平成20年8月6日更新の「あいちばん」データを掲載しています。

暮らしの相談110番

■県議会控室■

〒460-8501
名古屋市中区三の丸3丁目1番2号
電話(052)954-6714
FAX(052)961-2013

■事務所■

〒440-0813
豊橋市舟原町155 舟原マンション203
電話(0532)21-7200
FAX(0532)64-4368

■自宅■

〒440-0028
豊橋市多米東町二丁目20番地の12
電話(0532)62-9633
FAX(0532)64-4368

URL <http://www.watarai.org/>

E-mail katsuaki@watarai.org

◆ 県政へのご要望、ご意見など何でもご相談ください。また、法律・税務相談等もお気軽に ◆

※この県政ジャーナルは、わたらい克明の手作り新聞です。(再生紙を使用しています)